

令和4年度第4回医学系研究倫理審査委員会議事要旨（案）

I 日 時 令和4年7月25日（月）15:00～16:00

II 場 所 Web開催

III 出席者 稲谷委員長、小林委員、青木委員、重見委員、酒巻委員、森岡委員、井川委員、長谷川委員、波崎委員、岩佐委員、西村委員、後藤委員、五十嵐委員、喜多山委員（松岡C研究推進課長）、大谷委員（医療サービス課課長）、木元委員（福井県立大学）、草桶委員、高嶋委員

欠席者 なし

事務局側（松岡C研究推進課）吉田主査、坂井主査、山田主任、山本事務補佐員、鈴木事務補佐員
（医学研究支援センター）渡邊講師、坂下講師、渡辺技術補佐員、長谷川事務補佐員

IV 議 題

1 前回議事要旨の確認

6月20日に開催した令和4年度第3回倫理審査委員会の議事要旨（案）が承認された。

2 審 議 事 項

(1) 「esSVI,esSVVによる輸液反応性の検証」

麻酔科蘇生科 松木先生から、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

(2) 「神経性過食症に対するインターネット認知行動療法の有効性検証：多機関ランダム化比較試験」

子どものこころの発達研究センター 濱谷先生から、資料に基づき説明があり、審議の結果、以下の理由により継続審査（迅速審査）とした。

- ・研究対象者が使用したデバイスの種類を記載することについて、計画書に記載がないため追記する必要がある。

(3) 「気がかり妊婦に対するオープンダイアログの効果検証」

神経科精神科 水野先生から、資料に基づき説明があり、審議の結果、以下の理由により継続審査（迅速審査）とした。

- ・オープンダイアログに参加する具体的なメンバーが明確でない。個人情報保護の配慮と、看護師が参加することを確定して記載する必要がある。

(4) 看護学科の質的研究における評価項目の雛形（案）について

事務局から、資料に基づき説明があり、審議の結果、主要評価項目は質的研究にかかわらず全ての研究で記載が必要であることから、雛形の改修は行わないこととした。

(5) 子どものこころの発達研究センターの研究について

委員長から、子どものこころの発達研究センター所属研究者が実施する基礎疾患を有する子どもを対象とする検査やアンケートの実施を行う研究の迅速審査において、小児科医の視点から計画書を確認する必要性について提案があり、後藤委員から、特に心理士が主体となって実施する研究においては、基礎疾患への影響について小児科医が専門的な立場で計画書をチェックすべきではないかと感じることがあるとの意見があった。

今後は、小児科医の視点からの確認が必要であると判断する研究計画については、必要に応じて、福井大学医学系研究倫理審査委員会要項第3条第1項第6号に規定する委員に準じる者として、小児科医師へ事務局から研究計画書の事前確認を依頼することとし、これを承認した。

3 報 告 事 項

(1) 迅速審査結果について

事務局から、資料に基づき、令和4年6月8日～7月14日に実施された迅速審査43件が承認された旨の報告があった。

(2) 終了（中止）報告書について

事務局から、資料に基づき、終了1件、中止0件について報告があった。

(3) 小児のMRI撮像について

委員長から、資料に基づき、「本学における小児（16歳未満）のMRI撮像」について、前回の倫理審査委員会にて定義した内容について報告があった。

4 そ の 他

(1) 医学研究支援センターにおける審査前のチェック体制について

委員長から、委員より、ゲノム研究の専門家が少ないために審査前のチェック体制においてマンパワー不足になっているとの意見があったとの説明があり、医学研究支援センターの事前チェック体制を検討するよう指示があった。

(2) 会議資料の紙媒体での送付について

草桶委員から、会議資料は紙媒体の方が確認しやすいため、印刷して郵送してもらいたいとの依頼があったため、今後は、サーバーに電子媒体をアップするとともに、印刷した資料が必要な委員には申し出により郵送することとした。

次回開催予定日：令和4年8月29日（月）15:00～16:00

（医療監視の可能性があるため、8月22日（月）の予定から変更する旨説明があり、木元委員から、業務の都合により欠席との発言があった。）